

平成30年度

河南町中学生海外派遣事業報告書



シンガポール共和国

平成30年7月29日（日）～8月5日（日）

河南町教育委員会

目 次

☆ 派遣者名簿	• • • • •	1
☆ 派遣日程	• • • • •	2
☆ 事業の経過	• • • • •	4
☆ 派遣者報告		
平 妃奈乃	• • • • •	7
西川 奈緒	• • • • •	8
芥川 千鶴	• • • • •	9
木原 義仁	• • • • •	10
村上 実生	• • • • •	11
竹山 柚葉	• • • • •	12
森口 由惟	• • • • •	13
信貴 史菜	• • • • •	14
松田 萌々	• • • • •	15
前畠 美桜	• • • • •	16
橋本 菜歩	• • • • •	17
竹中 陸	• • • • •	18
和田 雄斗	• • • • •	19
寺内 奏歩	• • • • •	20
三鼓 彩波	• • • • •	21
林 大翔	• • • • •	22
須原 唯斗	• • • • •	23
奥野 ルイス	• • • • •	24
小松 花菜	• • • • •	25
石原 優羽	• • • • •	26
野村 伊吹	• • • • •	27
☆ 引率者報告		
城者 貴典	• • • • •	31
炭谷 有理子	• • • • •	32
☆ 記録写真	• • • • •	33

派遣者名簿

生徒氏名

氏 名	学 年
平 妃 奈 乃	高校1年
西 川 奈 緒	中学2年
芥 川 千 鶴	中学2年
木 原 義 仁	中学2年
村 上 実 生	中学2年
竹 山 柚 葉	中学3年
森 口 由 惟	中学3年
信 貴 史 菜	中学3年
松 田 萌 々	中学3年
前 畠 美 桜	中学2年
橋 本 菜 歩	中学2年
竹 中 陸	中学3年
和 田 雄 斗	中学3年
寺 内 奏 歩	中学3年
三 鼓 彩 波	中学3年
林 大 翔	中学3年
須 原 唯 斗	中学3年
奥 野 ル イ ス	中学3年
小 松 花 菜	中学2年
石 原 優 羽	中学2年
野 村 伊 吹	中学2年

引率者氏名

城 者 貴 典	河南町教育委員会事務局
炭 谷 有 理 子	河南町教育委員会事務局

派遣日程

No.	月 日	都 市	旅 程 内 容	
1	7月29日(日)	大 阪 関西国際空港発 チャンギ空港着	08:45 11:00 (以下現地時間) 17:10 19:00	◎集合 関西国際空港 ◎シンガポール航空 (SQ619 便) ◎入国手続き後、専用バスで滞在先へ ◎ホテル着 ・オリエンテーション・夕食
2	7月30日(月)	シンガポール	07:00 08:00 09:00 12:15 18:00 20:00	◎ホテルにて朝食 ◎MRT にて語学学校へ ◎語学学校にて英語のレッスン ◎フードコートにて昼食 ◎シンガポール市内研修へ ・マラーイオン公園 ・ガーデンバイザベイ入場 ・マリーナベイサンズ周辺散策等 ◎シンガポール市内で夕食 ◎マリーナベイサンズ SPECTRA 鑑賞 ◎MRT にてホテルへ
3	7月31日(火)	シンガポール	07:00 08:00 09:00 12:15 17:30 18:30	◎ホテルにて朝食 ◎MRT にて語学学校へ ◎語学学校にて英語のレッスン ◎フードコートにて昼食 ◎シンガポール動物園へ ◎シンガポール動物園にてアクティビティ ◎シンガポール動物園を出発 ◎ホテルにて夕食
4	8月1日(水)	シンガポール	07:00 08:40 09:00 12:15 13:30 17:00 18:30	◎ホテルにて朝食 ◎専用バスにて現地の老人介護施設へ ・老人介護施設にて利用者と交流 ◎フードコートにて昼食 ◎語学学校にて英語のレッスン ◎MRT にてホテルへ ◎ホテルにて夕食

No.	月 日	都 市	旅 程 内 容	
5	8月2日(木)	シンガポール	06:00 06:30 07:45 14:00 17:00 17:40	◎ホテルにて朝食 ◎専用バスにてホテル出発 ◎現地校にて交流 ・Nanyang Girls High School 訪問 ◎現地校カフェテリアにて昼食 ◎専用バスにてチャイナタウン、ブギスなどの文化的エリア散策 ◎レストランにて夕食 ◎MRTにてホテルへ
6	8月3日(金)	シンガポール	06:00 06:30 08:00 14:00 17:00	◎ホテルにて朝食 ◎専用バスにてホテル出発 ◎フードコートにて朝食 ◎現地校にて交流 ・Nanyang Girls High School 訪問 ◎現地校カフェテリアにて昼食 ◎専用バスにてシンガポール国立大学へ ・大学キャンパス内見学 ◎ホテルにてホストファミリーと会う ◎それぞれホストファミリー宅へ
7	8月4日(土)	シンガポール		◎終日ホストファミリーと過ごす
8	8月5日(日)	チャンギ空港発 関西国際空港着	11:00 14:05 (以下日本時間) 21:20 22:00	◎ホストファミリー宅にて朝食 ◎ファミリー送迎によりチャンギ空港集合 ◎シンガポール航空(SQ618便)にて大阪へ ◎入国手続き ◎解散 関西国際空港

※MRT・・・Mass Rapid Transit の略。シンガポールの電車・地下鉄

※ULC・・・United Language Center の略。派遣中に利用した語学学校

事業の経過

月日	内容	参加者
5月1日（火）～ 5月21日（月）	【参加者募集開始】 ➢ 募集定員 20人程度	対象：中学2・3年生 及び高校1年生
5月10日（木）	【応募者説明会】 ➢ 事業概要説明 ➢ 募集要項説明 ➢ 質疑応答	応募予定者
5月25日（金）	【派遣者決定】 ➢ 応募者21名派遣決定	中学2・3年生及び 高校1年生
6月6日（水）	【保護者説明会】 ➢ 事前研修計画・旅行行程説明 ➢ 提出物説明 ➢ 参加負担金説明 等	派遣決定者
7月7日（土）	【事前研修 第1回】 ➢ 研修行程確認（委託業者実施） ➢ 語学研修（町実施）	派遣中学生・高校生 委託業者 町ALT 引率者、担当者
7月13日（金）	【事前研修 第2回】 ➢ 語学研修（町実施）	派遣中学生・高校生 町ALT、町通訳 引率者、担当者
7月23日（月）	【事前研修 第3回】 ➢ 語学研修（町実施）	派遣中学生・高校生 町ALT 引率者、担当者
7月29日（日）～ 8月5日（日）	【シンガポール共和国に派遣】 ➢ 出国 ➢ 帰国	派遣中学生・高校生 引率者、委託業者
8月17日（金）	【報告会 準備】 ➢ 報告会説明 ➢ 報告会原稿作成、リハーサル	派遣中学生・高校生 引率者、担当者
8月22日（水）	【報告会】 ➢ 報告会実施（運営は派遣中学生） ➢ 記録動画上映	町長、教育長、教育委員 派遣中学生・高校生 保護者、引率者、 担当者 ほか

派遣中学生報告

河南町中学生海外派遣事業を終えて

平妃奈乃

私は、今年の夏シンガポールでたくさんの方のことを学ぶことができました。高校生は私一人で、他の子は全員中学生という状態でしたが、行って本当に良かったと思います。また、事業に参加したいと思う本来の目的を達成できて嬉しかったです。そう思った理由とは、私は長野高校の国際教養化に所属していて、クラスメイトはほぼ全員とっていいほど英語力があり、発音が良いので私ももっと頑張って語学力を磨きたいと思ったからです。すぐに効果は出ませんでしたでしたが、最近の学校の英語の授業で発音が良くなったねと先生に言われるようになりました。とても嬉しかったです。

シンガポールでは、初めての海外ということでとても不安な面もありましたが、自分の英語力につながるチャンスにもなり良かったと思います。一番の思い出はホームステイです。とても緊張し、言葉が通じないということもありましたが、ホームステイをしてくださった夫婦はとても優しく丁寧に話しかけてくださいました。他にも



いろいろな場所に連れて行ってくださったりして、本当にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。私の学校では海外の姉妹校がたくさんあり、様々な国の学生を校内でよく見かけるので、そういう人たちに今度は私が優しく話しかけたり、困っていたら助けてあげられたらいいなと思います。

2020年の東京オリンピックでもたくさんの外国人が日本を訪れると思うので、その時に私も今回学んだことの経験や語学力を活かしていけたらいいなと思います。また、私の将来の夢は市役所の観光課でその地域に外国人がたくさん訪れるような企画を立ち上げて、より活性化できたらいいなと思っています。その仕事をするには今の私の何十倍何百倍もの英語力が必要だと思うので、今回のシンガポール研修を第一歩として夢に向かって頑張りたいと思います。この事業に参加できて本当に良かったです。八日間ありがとうございました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

西川奈緒

私は夏休みに海外派遣事業でシンガポールに行きました。私はシンガポールでたくさんの事を学びました。その中でも特に大事なと思ったことが三つあります。

一つ目は英語の大切さです。英語は、世界共通で通じます。シンガポールでは英語があまりしゃべることができなくて、現地の人としゃべるのを戸惑うことが何度もありました。中学のテストでもリスニングが苦手で「英語頑張りたいな」と思いました。

二つ目は、伝えたいという気持ちです。海外派遣中に現地の中学校に行ったときに、ペアの子が英語が分からなくて困っていた私に、翻訳アプリで英語を日本語にしてくれました。彼女の優しい気持ちを感じて私も感謝の気持ちを伝えたいと思いました。英語では上手に伝えられる自信はありませんでしたが、調べて伝えることができました。相手に伝わったときに、伝えたいと思う気持ちが大切だなと思いました。

三つ目は、挨拶の大切さです。自分



はあまり人見知りするほうではないのですが、外国人の人と話すのはとても緊張したし、挨拶するのは難しかったです。自分のホームステイ先の人とはとてもフレンドリーで、どんどん話しかけてもらって仲良くなることができました。ホームステイ先の人の影響で少しずつ挨拶ができるようになりました。外国の人はみんな優しく挨拶したら笑顔で挨拶を返してくれました。挨拶することも大切だと思ったけど、なんでも試すことも大切だと思いました。

シンガポールではたくさん楽しいことがありました。でもしんどいことも何度かありました。たくさん学ぶことがある濃い一週間でした。この海外派遣事業で学んだことを活かしてこれからも頑張りたいと思います。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

芥川千鶴

私は今回のこの海外研修で様々な事を学ばせて頂きました。日本とは違う環境で不安もありましたが、それでも沢山のことを体験させて頂けて、すごく楽しかったです。

私が一番緊張したのはホームステイでした。私はとても英語が苦手で、ご家族の方の意思をくみ取れるかすごく不安でした。

確かに私の英語力では伝わらないことも多かったですし、理解することすら困難でした。でも、身振り手振りなどで伝えて頂けたり、成長できたと感じています。

自分で食べる物を注文したり道を聞いたり、すごく難しかったけれど、現地に慣れていくうちに上手になりました。

親が居ない状態でシンガポールに行くことがとても怖かったのですが、先生方は的確に指示を出して下さいて、安心することができました。本当に有難う御座いました。



7日間は時間の過ぎるのがとても早く、内容の濃いものでした。非日常的で面白くて最高の日々だったと思います。

このような日が過ごせたのは、何よりも引率して下さいた先生方のおかげですし、協力してくれた家族のおかげだと思います。

将来、私はこのような体験を活かして、海外とタッグを組む研究チームの一員になりたいです。

これからの医療は外国が先進していくし、またシンガポールは高度な医療技術が活かされた国です。私はそんな国で研究ができればなと思っています。

この海外研修に参加できてとても嬉しかったです。ありがとうございました。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

木原義仁

ぼくはこの海外派遣事業に参加させて頂いて良かったと思うところがあります。

どのようなところが良かったかというと、まず一つ目は、英語を聞く、話す力が少しでも上がったことです。シンガポールから帰ってから、学年の英語の小テストのリスニングの点数が少し上がりました。けれど、現地では、必死に聞いたり、話そうとジェスチャーで伝えようとしても相手が理解をしているのかわからなくて大変でした。ですが、その苦労のおかげで英語力が高くなったと思います。

二つ目は、シンガポールのことを知ることが出来たことです。行く前は、シンガポールといえば、マーライオンぐらいしか思いつきませんでした。今は、マリーナベイサンズ、シンガポール動物園など、たくさん思いつくことができます。さらに、シンガポールでは、日本では考えられないマナーやルールもありました。例えば、ゴミのポイ捨てをしてはいけない、ガムを持ち込んではいけないなど、日本と比



べて厳しいマナーやルールがとてとてもたくさんあって、気をつけないといけなくてとても大変でした。また、シンガポールの中でマーライオンが何個かあることや、ショッピングモールなどで、意外と日本の商品があったり、びっくりしました。

三つ目は、現地の人達との交流です。現地校の生徒と交流した時、出来るだけ英語で話そうとして変な英語を話してしまったり、通じなかった時はどうすれば通じるのか考えました。また、お店の人と話して通じた時はうれしく思いました。

今回シンガポールに行って、英語の大切さ、異文化との交流、家族の大切さを学びました。

今回、この事業を知ることが出来たおかげで良い体験が出来ました。この事業に関わってくれたたくさんの人々、本当にありがとうございました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

村上実生

私は、初の海外でした。なので文化や食生活、衣服など、たくさんのことを学び、とても勉強になりました。シンガポールでは日本の文化とは全く違い、とても驚きました。

私は、この取り組みで今まで話したことがあまりない友達や先輩と、とても仲良くなることができ、とてもよかったです。

私はマリーナベイサンズと、マラーイオンがどのぐらいの大きさなのか、というのがとても楽しみで、よくテレビで見ているところに行くことができ、うれしかったです。シンガポールズーは、私は今まで一度も動物園に行ったことがなかったので、ゾウやキリンやライオンなどたくさんの動物を見ることができてとてもうれしかったです。

向こうの中学校の人は、とても日本語が上手でした。中国語も、英語も、マレー語もしゃべれて、すごいなぁと思いました。日本に帰ってきてからも、インスタの DM で話したりするとなつかしいな、また会いたいと思います



す。

シンガポールで一番学んだことは、文化や日本との違いです。まずシンガポールに着くと、日本とは違いマンションがたくさんあってビックリしました。老人ホームでは、今まで英語で練習していたのに中国語しか伝わらない人がたくさんいました。でも言葉の壁はあったけど、顔や手などで表現すると、分かってくれる人がたくさんいました。とてもうれしかったです。

ホームステイでは、日本の食事とは全然ちがって、お茶はとても甘くて、ご飯も私の口にはあまりあいませんでした。ホームステイの方はとても優しく、シンガポールについてや様々なことを教わることができました。空港ではなれる時は、とても悲しかったです。

シンガポールは、とてもいい国でした。また大人になっても、行ってみたいと思いました。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

竹山柚葉

英語の語学力を伸ばしたくて、今回の海外派遣事業へ参加しました。

現地での交流会や食事の注文、最終日のホストファミリーの家へのお泊りまで、たくさん英語を使うことができました。英語を使う時間がたくさんありました。

現地の交流会では、歳が同じくらいの女の子と話をしたりプレゼントを渡したりしました。

日本らしいプレゼントを、現地の子を想像しながら選びました。

渡した時にとても喜んでくれた顔を見たときは嬉しかったです。

私の思っていることを伝えるのはとても難しかったです。どうしても無意識に日本語が英語の中に混ざってしまったりして、きっと現地の子は理解が難しかったと思います。

どうしても伝わらないと、体を使ったりジェスチャーで伝えようとするのも減らしたいと思いました。もっと単語を覚えておかないとだめだと思



いました。

学校ではたくさんの方が話しかけてくれて嬉しかったです。

フードコートやお店では、料金の数字の発音や聞き取りに気をつけました。15なのか50なのか、きちんと分かるようにしました。恥ずかしがらないではっきり言って、お店の人がうなずいてくれて通じた時はとても嬉しかったです。

最終日にホストファミリーの家に泊まりに行きました。いろんな所に観光に行きました。

今度は自分から話しかけてみようと思いました。美味しいとかありがとうをたくさん言えたので良かったです。

将来は英語を使う仕事や旅行をしてみたいと思います。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

森口由惟

私は、今回の事業で多くの事を学びました。

1つ目は、とにかく伝えようと努力をすることです。私は英語があまり得意ではなかったので、現地の中学校やホームステイに行ったときに、とても苦労しました。でも私が一生懸命に何かを伝えようとすると、相手の方も真剣に向き合ってくれて、通じた時はとても嬉しかったです。

2つ目は、国を超えた日本の文化のすばらしさです。現地の学校へ行った時、私はバディの子と何を話していいかわからず、話しかけることができませんでした。その時、バディの子のペンケースに日本のアニメのストラップが付いていて、私もそのアニメの事を知っていたので、声をかけてみるとバディの子も大好きで、そこからずっとアニメの話でたくさん会話することができました。お昼ご飯の時、他の子のバディの子とも話す機会があって、そこでもアニメの話で、約10人ぐらいでとても楽しく話をすることができました。日本の文化が外国でも



人気で、仲良くなれるカギになって、とてもうれしかったです。

私は今回、シンガポールに行って本当によかったと思います。学校のルールや授業内容、イベントなどをやさしく分かりやすいように教えてくれたバディや、先生達とはなれ、初めて友達と2人だけで現地の人と交流で不安だった私達にやさしく接してくれたホストファミリーにはとても感謝しています。本当に良い体験が出来たと思います。

この体験に参加させてくれた親にはとても感謝します。今回のこの取り組みで、英語が苦手だったけどとても興味がわきました。これからの学校生活に少しでも活かしていけたらと思います。

本当に楽しかったです。ありがとうございました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

信貴史菜

私が今回参加しようとした理由は、英語力を上げたいと思ったのと、外国の人、文化など日本とはちがうものを体験してみたかったからです。外国に行く、しかも親もいないし友達と。そう考えたら少し寂しい気持ちもあったけど、それ以上にわくわくする気持ちでいっぱいでした。事前研修をしている時も本当に大丈夫かな、と不安でいっぱいでした。でもシンガポールに着いたらわくわくする気持ちがさらに大きくなり頑張ろうと思いました。

現地で二日目から語学学校へ行ったり現地の学校へ行ったり、その他にもたくさんの方のところへ行きました。その中でも特に印象に残っているのは現地の学校へ行ったことです。初めはもちろんだんな感じの学校なのか、きちんとスクールバディの子と話せるかわかりませんでした。でも学校に到着して説明を受け、スクールバディの子と会い雰囲気が良く安心しました。バディの子はとても可愛くてたくさん話しかけてくれて自分も楽しくなり、二日間しか会えないことに寂しさを感じました。



あと、日本とは違う経験をしたと思うことがホームステイです。その日にあった方と二日間過ごすというのはもちろん初めてで緊張しました。自分の好きじゃない食べ物が出てきたらどうしようとか、自分の今の英語できちんと話せるかなとか、考えることはマイナスなことばかりでした。実際に会うととても良い方たちで、楽しい貴重な経験ができました。初めは自分の話す英語が上手く伝わらなくて焦りました。でも伝えようと思う一心でもう一度言ってみると分かってくださったので、自分の話す英語でも通じるんだ、と安心したし自信もつきました。

今回学んだコミュニケーションを自分から取ろうとする大切さを活かして、私は将来英語や外国に関係することをしてみたいと強く思うようになりました。今までは苦手だと思っていた英語だけど、実際に使うと楽しいと思えたので、これからはさらに頑張ろうと思いました。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

松田萌々

私はこの海外派遣事業に参加して本当に良かったなと思います。始め、日本を出発する時は、これからの事が楽しみで仕方ありませんでした。でも、いざ現地に着くと、これから一週間大丈夫かなと、とても心配になりました。

一日目はほとんど英語を話すことが無く終わりました。

そして二日目、三日目は午前は英語学校、午後は観光という形でした。英語学校では楽しみながら英語の勉強をすることができました。最終日には証書をもらえたり、家族に英語でメッセージを書いたポストカードを送ったりとても良かったです。観光は念願のマーライオンとマリーナベイサンズが見れ、動物園にも行きました。園内を行動するとき、私はなおちゃんと日本語があまり話せないアレックス先生と三人でいました。アレックス先生が英語で案内をしてくれ、それを二人で聞き取り、英語で返事をするというのがすごく難しかったけど、とても楽しくいい経験だったと思います。日本語を教えてあげることもでき嬉し



かったです。このような体験は現地の学校に行ったとき、ホームステイのときにもありました。まず学校ではフレンドリーな生徒が多く、たくさん話しかけてもらえました。でも緊張で6割ほど返すことができずアイパッドに頼っていました。でも、調理実習の時、先生の作り方の説明が分かりすごく嬉しかったのを覚えています。仲良くなれた友達とは今もスマートフォンでつながっていて、たまに連絡を取り合っています。

次にホームステイでは、ホストマザーにずっとお世話になっていました。ホストマザーは当たり前ですが日本語が分からず、伝わらないときはジェスチャーで会話をしました。セントーサ島に連れて行ってもらい、ずっと英語で会話をしながら行動していたのは今思うと本当にいい経験だったと思います。これらの体験を通し、私には将来英語を話せるようになるという、夢ができました。充実した一週間で一生の思い出です。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

前畠美桜

私はこの八日間シンガポールでしてきた事は、今でもすごく良い経験だったなぁと改めて思います。それはなぜかという、一つ目はまずホテルのお風呂場がせまくて、トイレと一体化していて、椅子がなくてびっくりしました。テレビで外国のお風呂場は見た事があるけど、その場で自分が入ってするのはまた違ってすごく居心地が悪かったです。でもこれも一つの経験として心の中に残しておきたいと思います。二つ目は、自分だけで親がいない、まるで一人暮らしをしているような感じがした事です。いつもは、洗濯物などもお母さんが洗ってくれたり親がほとんど家事をしてくれているけど、その親がいない生活はシェアハウスをしているような気分ですごく楽しい部分もあったけど、さみしい部分もありました。だけど、親がいない自分一人だけで頑張ってみようという気持ちが強かったので、一つの将来への道かなとも思いました。なので、すごく良い経験だと思いました。三つ目は、毎日シンガポールの町



を歩いていると、そこら中が英語やマレー語なのでよく分かりませんでした。いつもは日本なので英語の看板などは良く見かけませんが、外国になるとご飯の名前も飲み物の名前もほとんどが英語やマレー語で、なんとか英語はまだ分かるので読めるのですが、マレー語となると全く読めないの、食べ物だと絵を見て指で訴えたりしてその場をしのいでいました。でもこれも外国だからできる事なので難しかったけど良かったかなと思いました。

今回私は、海外は初めてで行く前は色々なルールがあってとても心配でした。だけど、行ってみると案外とてもおもしろく、カタコトの日本語やフレンドリーな人達が多くて不安や心配もうすれてきました。なのでとても楽しかったです。この経験をまたちがう事に活かせたらいいなと思います。シンガポールに行って本当によかったです。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

橋本菜歩

私が海外派遣事業に参加した理由は二つあります。

一つ目は英語が苦手だからです。なのでシンガポールに行ってみて英語がどれだけ楽しいのかおもしろいかを知りたかったからです。

二つ目は、おばあちゃんが色々な国にいらっていて、いつも帰ってきたら「海外は行ったら楽しいよ。」と言っているので興味を持ちました。

シンガポールに行ってみて、私は行ってよかったと思いました。なぜなら日本と全く違う文化や言葉、分からない事が多かったけれど、現地の中学校に行き日本が大好きな子や日本のアニメや漫画が好きな子がたくさんいて、とてもうれしい気持ちになりました。またいつか会いに行きたいです。

シンガポールに行く前はわくわくしたりドキドキしたり、とても楽しみでした。不安なときもあったけれど、シンガポールに着くと日本とは違う光景にドキドキしていました。マラーイオン公園やガーデンバイザベイを見たりマリーナベイスンズのショーを見ました。ショーは迫力がすごかつ



たです。また見たいと思うぐらいでした。シンガポール動物園も日本の動物園よりも大きくて歩くのがしんどいぐらいでした。ご飯も美味しくてチキンライスが美味しかったです。

シンガポールに行って一番いい思い出になったのはホームステイです。英語が苦手ですごくすごく喋れるわけでもなくて、とても緊張していました。けど一緒に過ごしてみてとても楽しかったです。とても優しい方で空港で別れたときさみしい気持ちになりました。とても良い経験でした。

今回、初めての海外でこのような経験をさせてもらったことがとてもうれしいです。私が知らない発見がたくさんあり、日本の良さがとても知れたし、海外の良さもたくさん知れました。この経験は私の中でとても思い出に残りました。現地の中学生やホストファミリーや語学学校で教えてくださった先生方、とても楽しかったです。とても良い経験をありがとうございました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

竹中陸

今回、河南町中学生海外派遣事業でシンガポールに行って、色々な特別な経験を得ることができました。

僕は国外へ行くのは今回が初めてでした。シンガポールは、ゴミをポイ捨てするだけで罰金を払わなければなりませんでした。そのこともあってシンガポールの町にはゴミが一つも落ちておらず、すごくきれいでした。シンガポールは日本より湿度が高くやや気温が高かったので、むしむししていました。

シンガポールで訪れた場所で印象に残っている場所は植物園です。そこでは日本では見られないような種類の植物を見ることができました。植物園は二つあり、一つは花やサボテン、大木などがたくさんありました。もう一つの方には、人工の滝があり、すごく湿度が高く、すごく涼しかったです。大きな木やサボテンはなくて、少しの種類の花と、たくさんの葉があり、すごく緑がきれいでした。

次に印象に残っているのは、現地の中学校です。まずおどろいた所は学校



の大きさです。河南中学校とは比べものにならないくらい大きかったです。次に驚いたのは授業の内容です。現地の学校に通っている人は、英語と中国語をしゃべれていて、僕達とペアになっていた人は日本語も話せていました。すごく驚きました。

授業は護身術、数学、中国語、理科で豚の心臓の解剖などの授業をしていました。数学や中国語の授業ではスクリーンに教科書の内容を映したり、アイパッドなどを使い、生徒と先生の間で情報交換をしていました。護身術は、校舎を移動し柔道をするような所でした。理科の授業では理科室に移動して席につくと、メスやハサミなどの道具が配られました。少ししてから豚の心臓が配られ、道具を使い解剖をして、心臓の仕組みなどを勉強しました。

このような授業は日本ではあまり経験することが出来ないと思うので、今回の河南町中学生海外派遣事業は、すごく良い経験になったと思います。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

和田雄斗

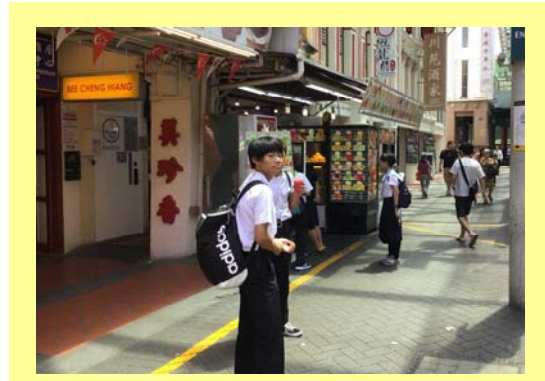
僕は、シンガポールに行って思ったことや気付いたことがあります。

1つ目は、ホストファミリーの家にいったときの事です。それはシンガポールのはしからはしまであっという間に移動することができることです。調べてみるとだいたい大阪ぐらいの大きさでした。

2つ目は、ほとんどの室内では、エアコンではなく大きなプロペラがついていて、それが回って涼しい風をつくり温度を下げていたことです。最初見たときはこんなものがあって危なくないのかなと思ったけど、1週間いて何もなかったのが安全だったのだなと思いました。

3つ目は、ショッピングモール的なところにあったエスカレーターの速さが、びっくりするほど速いことです。しかも、たまにエスカレーターのベルトがずれて、手がもっていかれることがありました。

ホームステイ先では、ホストマザーがいろいろな場所に連れて行ってく



れて、いろいろな発見がありました。なんとホストマザーにはお手伝いさんがいたのです。シンガポールでは普通なことらしいです。

オーチャーズでは、ホストマザーがフードコートでいろいろな食べ物を食べさせてくれました。なかでも一番おいしかったものは、さとうきびジュースです、それはとても甘くておいしかったです。その歩道でエンジン付きのキックボードに乗っている人がいて、かっこいいなと思いました。

その通りに日本にもある有名な百貨店がありました。その中には、WTGという紅茶屋がありました。その中には、一箱で三百ドルもするものがありました。日本円になおすと約二万四千円です。とても高いなと思いました。僕はこのような体験を、高校で留学したときに活かしたいです。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

寺内奏歩

河南町中学生海外派遣事業を終えて、異文化に触れる楽しさと難しさを感じました。私が一番心に残っているのは、現地の中学生との交流です。まず、女子中学校を初めて見たとき、とても驚きました。日本の学校とは規模が全くちがうからです。教室はいくつもあり、建物の造りはとても開放的で、いい学校だなと思いました。この中学校は授業でタブレットを使っており、最先端な授業だと感じました。そんな素晴らしい中学校で、私はすてきな友達ことができました。私のバディの子はとても日本語が上手でした。この学校では、ドイツ語や日本語などの四か国語のうち一つを学ぶことができます。そこで私のバディの子は日本語を学んでいるのです。私も学校で英語を勉強しているし、シンガポールに来たからこそはしっかり英語を使おうと頑張りました。ですが、さすがに授業の内容までは分からず、ただ時が流れるのを待つだけだと思っていました。しかし、私のバディの子が日本語で授業の内容を教えてくれたのです。



少し授業が分かると不思議と全て分かってくるような気がしました。バディの子のおかげで、私は英語だけの授業を楽しく受けることができました。私にとってそんなバディの子は大切な友達でもあり、憧れの人です。英語がわからず不安だった私に異文化に触れる楽しさを教えてくれたからです。

私は海外派遣事業に参加してよかったと思います。今まで見ていた景色が変わったからです。英語に自信がつき外国への興味が深まりました。さらに、現地の中学生と交流したことにより、外国の人達とつながれる仕事に就いてみたいと、新たな夢の候補を持つことができました。今はまだ、英語を話すことはできません。でも、また海外へ行き、たくさんの経験を積んで話せるようになりたいです。最後に、貴重な経験ができる機会をつくってくださった方々、支えてくださった先生方、そしてなにより海外へ行くチャンスを与えて、見守ってくれた家族に感謝したいです。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

三鼓彩波

今回、私は河南町中学生海外派遣事業に参加しました。私が河南町中学生海外派遣事業に参加しようと思った理由は二つあります。一つ目は、英語が苦手なので少しでも英語でコミュニケーションをとることが出来る様になりたいと思ったからです。

初日、上手く英語でコミュニケーションをとることができるだろうか、など不安でいっぱいなまま飛行機に乗りました。すると早速飛行機で英語でコミュニケーションをとらないといけなくなりました。自分の伝えたいことを上手く伝えることが出来ているか不安だったけど、伝えることができました。一週間大丈夫かなと思っていたけど、シンガポールの人と会話をしていてどんどん聞きとることができるようになり、自分も伝えたいことを伝えることができるようになっていました。

二つ目は、異文化に触れてみたいなと思ったからです。日本とシンガポールでは違う所がたくさんありました。町中では電柱がないし、現地の中学校では授業中に飲み物を飲んでいて驚



くようなことがたくさんありました。

今回、河南町中学生海外派遣事業に参加することでたくさんのことを学ぶことができました。日本との違う所やコミュニケーションの取り方を学びました。そして、感謝の気持ちを忘れてはいけないという事を改めてすごく感じました。シンガポールまで一緒に行ってくださった人や現地の人、河南町中学生派遣事業に参加させてくれた家族に感謝しています。

これから今回学んだことや経験したことを色々なことでたくさん活かして行きたいと思います。現地の中学生やたくさんの人が英語で話しかけてくれて、嬉しかったし仲良くなることが出来て良かったです。

今回河南町中学生海外派遣事業に参加できて良かったです。本当にありがとうございました。



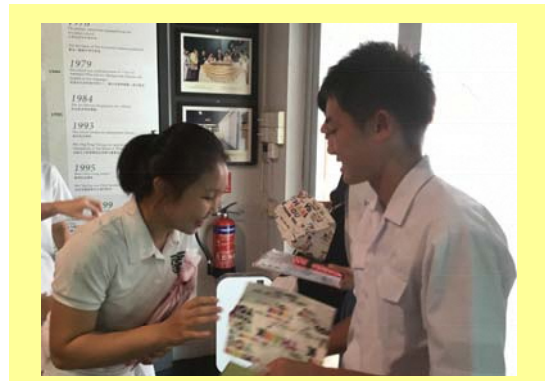
河南町中学生海外派遣事業を終えて

林大翔

僕は、この河南町中学生海外派遣事業に参加して、たくさんのことを学ばせて頂きました。

まず、なぜ中学生海外派遣事業に参加したかという、日本では見ることができない、色々なものを自分の目で見たり、体験したりしたかったからです。そして、自分の英語力を上げたり、シンガポールの人々が使っている英語の発音などを聞いて学びたかったからです。

シンガポールではガムを食べてはいけないことにおどろきました。そしてシンガポールにいと日本の和食がとても食べたくなったりもしました。でも、たくさんの経験もさせていただきました。まずマツ先生先生の教室で英語を学んで、学校よりも楽しく英語が学べました。そして、みんなと一緒に食べたカヤトーストはとてもおいしかったです。そして初めてマライオンを見たときに、テレビでしか見た事がなかったので、とても良い経験になりました。また、夜に見た水のショーはとても迫力があってワクワク



しました。

シンガポールで一番印象に残っているのは、シンガポール動物園です。そこでは、日本の動物園では見ることができない動物がたくさん見られてとても楽しかったです。

女子校に行き、バディの子と会った時、初めはドキドキしたけど、話をしていく内にだんだん仲良くなれました。

チャイナタウンで家族のお土産を買いました。その時とても楽しかったけど、少し家族が恋しくなりました。

そしてホームステイもしました。ホームステイ先では、とても優しくしてもらってとても楽しかったです。ホームステイ先の人達と行ったショーもとてもすごかったです。ホームステイ先の人とお別れするのは悲しかったけど、とても良い経験をしました。

自分の中でこの夏一番の思い出になり、すごく良い経験をしました。この経験が無駄にせずに、しっかり受験や勉強に励みたいです。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

須原唯斗

私は最初、シンガポールに行く前に思っていたことは、ただの旅行だということです。ですが、シンガポールに着いてから、現地の人との交流におけるコミュニケーションが難しく、うまく言葉が出てこなかったりと、いろいろ苦労しました。ですが、英語でしか書かれていない文や、現地の人との会話など、最初こそは「うっ」と身を引きたい思いでしたが、日が過ぎるにつれて、抵抗がなくなっていきました。最初はただの旅行と思っていても、途中からはちゃんと身を引き締めて、しっかりと勉強できたのではないかと思います。

私がシンガポールに行って苦労したことは2つあります。一つ目は老人ホームにおいてです。現地の人なので「英語が伝わる」ことを前提で考え、予定を立てていたため、なかなかうまくいきませんでした。中国人の方が多くいたからです。この時に思ったことは、お互い言葉が通じない中、コミュニケーションをとるにはジェスチャーがとても大切だということです。



二つ目はホームステイ先でのことです。私のホストマザーはとても優しい方で、行きたいところを頑張って伝えたら、連れて行ってくれました。また、私たちのおなかがいっぱいになるまで食事をふるまってくれました。しかし、おなかがいっぱいになってもふるまわれたとき、「No Thank you」と伝えたら失礼になるのかな？などと思ってしまい、とても言い出しづらかったです。このときに思ったことは、思ったことははっきりと伝えたい方がいい、ということです。

シンガポールに行っておどろいたことは、現地の中学生です。現地の中学生は英語だけでなく中国語、さらには日本語を話す人がいて、すごいなあと思いました。

これからは、現地の中学生に負けないように、たくさん努力していきたいと思います。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

奥野ルイス

僕は、今回の海外派遣事業を終えて、いろいろなことを学びました。

1つ目は、ずっと前から海外に興味があり、行ってみたいと思っていました。しかもシンガポールに行けるなんてすごいことだと思っていて、初めて英語を多く使いました。そしてシンガポールの人達との交流でとても仲が良くなったような気がして、とてもうれしかったです。

2つ目は、シンガポールにある中学校に行って自分たちと同年代の人達と英語で話す機会がたくさんあり、とても充実した時間になりました。

3つ目は、ホステルでの生活です。ホステルでは部屋が一緒の人と行動することが多かったのでとても楽しかったです。

私が今回の事業で楽しかったのは、シンガポールの観光とホームステイです。シンガポールの観光では、写真で見たのとはぜんぜん迫力がちがうものでいっぱいでした。特にマーライオンがきれいでした。



動物園にも行ったりして、日本にはいなさそうなたくさんの生き物がいて、とても楽しかったです。

ホームステイではホストファミリーの方が私たちにとても優しく接してくれて、シンガポールの文化など、いろいろなことを教えてもらいました。

そしてセントーサ島のマーライオンも見に行きました。シンガポールにあるマーライオンの中で一番大きくて、カッコよかったです。

今回の事業を通していろいろなことを知り、見たり、体験したりしました。この貴重な体験を活かして、僕が将来アメリカに住むためにこれからも英語の勉強をがんばりたいと思います。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

小松花菜

私は河南町中学生海外派遣事業に参加しました。なぜ参加したのかというと、私は英語が好きなので、英語の教科書には載っていないような「現地の英語」に触れ、聞き、話したいと思ったからです。

今回の研修は、何もかもが「初めて」でした。飛行機に乗るのが、外国へ行くのが、外国の人と話すのが。シンガポールの料理やお土産、家庭での生活。すべてが新鮮でした。でも、全て楽しかったです。それは、一緒に行ってくれた先生たちや、優しく話しかけてくれた街の人々、そしてホストファミリーのおかげだと思います。

一日目のチャンギ空港に到着した時は自分が外国にいる実感がわきませんでした。でもとてもワクワクしていました。恐怖心はなかった、ただ気持ちが舞い上がっていました。

しかし、街へ出てみると電線はないし、歩行者用の信号も少し違い、味のない高層ビルの集まりなどを見て、少しずつここで一週間生きられるかな？という不安が湧き上がってきました。



した。

しかし、やはり楽しい。二、三日目にマーライオンやマリーナベイサンズ、ガーデンバイザベイに動物園。初めて見る景色に不思議なデザインの建物が映っていて、ものすごく近い動物、ものすごく大きな植物。今度は、もう帰りたくない！と思えました。

それに、料理も全て美味しくて、飲み物は口に合わないけど、毎食が楽しみで、楽しくて、最高でした。

四、五日目は女子中学校へ行き、バディと一緒に過ごしました。黒板の文字を日本語に訳すので精一杯の授業でしたが、ランチタイムはバディとその友達で盛り上がり、調理実習はみんなでエクレアを作り、盛り沢山でした。

最後は、ホームステイ。ファンフェアや商店街に行き、インドの文化を感じたり、地元のスーパーに行って買い物をしました。

この経験は、一生忘れられない最高の思い出になりました。ありがとうございました。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

石原優羽

私は、この事業に参加していい経験になったと思いました。

理由は、現地校との交流やホームステイがあったからです。

現地校では、現地の人と一緒に授業を受けて英語、中国語を習い、現地の人とその二つの言語で少し話すことができました。

その語学学校では、いろいろな部活もあり、私たちが行った時はダンスをおどっていました。

お昼は、いろいろな国のご飯があり、日本食もあればインド系のごはんまでいろいろあり、びっくりしました。

ホームステイ先では、急ぎょ私たちを受け入れる予定だった人が倒れてしまい、違う人に代わりました。

その家にはWifiがなく、少し不便な部分もありましたが、予定を決めてお出かけしたりしま



した。

ものすごく急だったにもかかわらず、中国語が伝わらない私たちを英語で理解できるようにゆっくりと説明してくれました。

この事業に行かなければ、こういう経験はできなかったのも、すごくうれしく思います。

次は、家族とシンガポールの事をもう少し調べてから行けたらなと思いました。



河南町中学生海外派遣事業を終えて

野村伊吹

私がこの派遣事業に行こうと思ったきっかけは、一つは今まで英語を勉強して、自分の英語がどれくらい通用するのか試してみたかったからです。もう一つは、単純に行ってみたいという気持ちがあったからです。

行ってみたら、やっぱり少し違う環境で最初は不安だったし、日本では普段英語を話す機会があまりないため、ドキドキする気持ちもあったり、色々な感情が、その時はありました。

お土産を買う時など、お金の使い方に困らないように、みんなで教え合いながら、楽しく考えたりもして助け合うことも、みんなで最後までこなしてきました。

シンガポールでは、中国語を話す人もいて、私は中国語なんて全然勉強しないから、とっても戸惑いました。けれど、そのおかげで少しは勉強しようかな、と思う気持ちもありました。

私は、この派遣事業で学ぶこともあったり、みんなで楽しく笑ったり、たくさんの笑顔や思い出があったことを、いつも思い出すたびに、私の頭によみがえります。



この派遣事業での、私の一番の思い出はたくさんあったけれど、やっぱり外国人と会話が出来たことです。日本では、外国人を見かけるだけで話すことはないの、とってもいい機会をもらえたかなと思います。それに、最初は聞き取りにくかった英語も、徐々に聞き取りやすくなったりもして、英語が楽しくなる時もたくさんありました。向こうでも友達ができたことで、成長したと実感できたし、知らない人でも話せたことによって、少し自信を持てた気がしました。これをきっかけに、もっと英語を勉強して、大人になればまた海外に行きたいです。今回のメンバーやホームステイの時泊らせて頂いた方、向こうでの学校の先生方に感謝しかありません。今後、英語を使うことは行った時よりも減りますが、余裕を持たずもっと勉強したいと思っています。

この事業に参加でき本当に良かったです。ありがとうございました。

派遣引率者報告

河南町中学生海外派遣事業を終えて

城者貴典

8日間の本事業をとおして、参加した生徒のみなさんは、海外でしか得られない貴重な経験をたくさん積むことができたと思います。

1日目から行われた語学学校のレッスンでは、入国に関するものや、手紙の書き方など、生活場面で役立つ内容を学習しました。また、後の活動に関する英語のレッスンもあり、より効果的に学習が進んだように思います。

英語の学習だけでなく、様々な文化にふれ、様々な年代の人たちと関わることで、多くの学びがありました。

8日間で様々な場所を訪れました。世界の金融センターでもある超高層ビル群や、マリーナベイ・サンズなどの観光地では経済発展の勢いを感じ、チャイナタウンやリトルインディアでは多民族国家の空気を肌で感じる事ができたと思います。

食事でも、日本と変わらないレストランやフードコートから、地元のホーカーズと呼ばれる屋台、現地校の学食まで幅広い経験ができました。

その中で、自分の食べたいものを注文したり、現地校のパディにメニューをたずねたりするなど、様々なコミュニケーションがうまれていました。

また、ほとんど自炊をしないというシンガポールの食生活を垣間見る機



会にもなりました。

人との出会いについては、語学学校の先生、老人福祉施設の方々、同年代の南洋女子中学校の生徒、ホームステイ先のホストファミリーなど、多くの人たちとの出会いがありました。

様々な人との関わりを通してコミュニケーションをとることの難しさをたくさん感じる事ができたと思います。逆に、コミュニケーションがとれたときのうれしさもそれ以上に感じられたと思います。

正しい発音や文法で英語を話せることはもちろん大切なことです。しかし、この事業を通して、少しくらい正しい英語ではなくても、自分の思いを伝えることの大切さを学んだのではないかと思います。

私も、共通言語としての「英語」の大切さを改めて実感する機会となりました。4つの言語を公用語にもつシンガポールだからこそ、強く感じたことかもしれません。

本事業で得られた経験は本当に貴重なものです。この経験を友人や家族に伝えとともに、今後の人生にぜひ役立ててほしいと思います。

最後に、本事業を支えて下さった関係者の皆様に深く感謝致します。

河南町中学生海外派遣事業を終えて

炭谷有理子

振り返ると、この海外派遣事業は台風の影響によりシンガポールへフライト出来るかどうか、という予測困難な状況から始まりました。

引率を行う上で一番気をつけていたのは、参加する生徒全員の体と心の健康面でした。もし体調不良を訴えるようなことがあったらどうしようか、精神面でのサポートもどこまで出来るのか、と不安でした。そんな私の不安とは裏腹に、生徒たちはびっくりするぐらい元気でした。

事前研修の時、生徒たちは発言が少なく、おとなしい印象を受けました。英語で話をすることや、思いを伝えることが出来るのだろうかと心配でしたが、現地ではしっかりと自分たちで考えて行動している姿に感動しました。特に、自由行動になると自分たちが気になるジュースや食べ物、おみやげがあれば好きに買い物を楽しんでいる生徒たちの姿に安心しました。ただ、生徒たちにはもう少し積極的に海外の料理にチャレンジしてほしいのですが、逆に日本食のおいしさを



感じたことと思います。

研修中は英語の勉強だけでなく、MRT（電車）やバスでの移動も多く、またたくさん歩いたので「歩き疲れた～」という人もいました。でもこの疲れはこの研修事業に取り組み、海外の地を歩き、異文化に触れている証でもあります。

「この研修どう？」と聞くと生徒からは「楽しい！」「帰りたいくない！」と返ってきました。引率者としてはその言葉が聞けたことが心から嬉しかったです。

参加した生徒は海外派遣事業をやりきりました。自信を持って下さい。それぞれ感じた気持ちやこの経験を忘れないで、感謝と思いやりの心を持って、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

私自身も多くのことを学ばせていただきました。研修中、生徒たちと話をするのは本当に楽しかったです。ありがとうございました。生徒全員の今後の頑張りを応援しています。

記 録 写 真

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 事前研修会 第1回（7月7日）



事前研修スタートです



現地スタッフとネット回線で交流



英会話レッスンスタート



アイスブレイク



入国審査のシミュレーションです



英会話レッスン

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 事前研修会 第2 回（7月13日）



英会話レッスン



英会話レッスン



英会話レッスン



英会話レッスン



英会話レッスン



アイスブレイク

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 事前研修会 第3 回（7月23日）



英会話レッスン



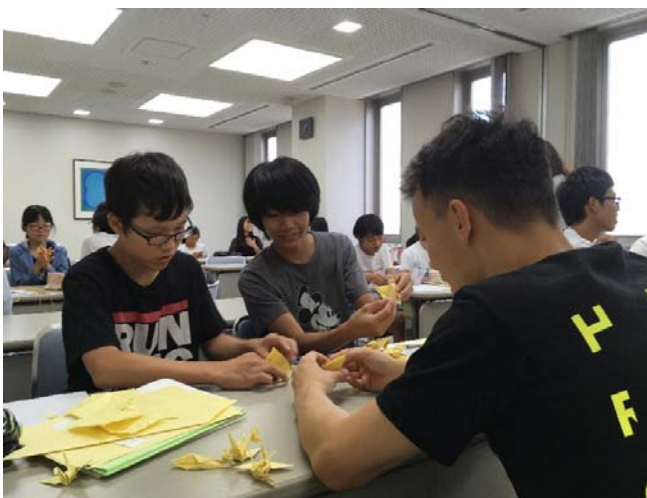
英会話レッスン



英会話レッスン



英会話レッスン



現地施設訪問準備



現地施設訪問準備

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 1日目（7月29日）



関空 みんな元気に出発です



シンガポールへ向けて離陸



チャンギ空港に到着



ホステルに到着



シンガポールで初めての食事です



オリエンテーション

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 2日目（7月30日）



乗合バスと鉄道で語学学校へ



午前中は語学学校で英会話レッスン



英会話レッスン



午後はマーライオン公園に行きました



マリーナベイサンズをバックに



マリーナベイサンズSPECTRA鑑賞

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 3日目（7月31日）



午前中は語学学校で英会話レッスン



英会話レッスン



シンガポールから日本へ手紙を出しました



フードコートで昼食 注文も自分です



シンガポール動物園



1日の予定が終わりリラックスタイム

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 4日目（8月1日）



地元の屋台で朝食です



バスで老人介護施設へ移動



老人介護施設で現地の方と交流



老人介護施設で現地の方と交流



午後 語学学校で修了証をいただきました



今日の夕食はバーベキューです

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 5日目（8月2日）



午前中は南洋女子中学校を訪問



スクールバディと対面



スクールバディと一緒に昼食



午後はチャイナタウンやブギスを散策



ショッピングを楽しみました



ショッピングを楽しみました

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 6日目（8月3日）



南洋中学校全校朝会に参加しました



これからバディと一緒に授業を受けます



事前に準備したギフトを交換



事前に準備したギフトを交換



シンガポール国立大学を訪問しました



シンガポール国立大学を訪問しました

ホストファミリーのみなさんと （ホームステイ 8月3～4日）



平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 7日目（8月4日）



南洋中学校全校ファンフェアにて



リトルインディアにて



セントーサ島にて



ユナバーサル・スタジオ・シンガポールにて



オーチャード・サムレストにて



セントーサ島にて

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 8日目（8月5日）



ホストファミリー宅から空港へ集合です



チャンギ空港で



飛行機搭乗までのひととき



飛行機搭乗までのひととき



関空に到着です



みなさんお疲れ様でした

平成30年度 河南町中学生海外派遣事業 報告会（8月22日）



報告会スタートです



司会進行



活動報告



活動報告



活動報告



引率者と笑顔で

編集・発行 河南町教育委員会事務局 教・育部 教育課
〒585-8585
大阪府南河内郡河南町大字白木1359-6
TEL 0721-93-2500
FAX 0721-93-7560

発行月 平成31年3月

